

平成21年9月24日（木）開催

## 行財政改革・道州制等特別委員会会議順序

開議時刻 午前10時30分  
会議室 第一特別委員会室

○ 開 会

○ 付託事件

1 行財政改革に関する調査

(1) 公の施設見直しの最近の状況について

2 道州制に関する調査

(1) 道州制シンポジウムの開催について

○ 次回の委員会

○ 閉 会

公の施設見直しの最近の状況について

行 財 政 改 革 ・ 道 州 制 等  
特 別 委 員 会  
平 成 2 1 年 9 月 2 4 日  
総 務

区分	施設名等	見直し方針	最近の状況
20 年度 見 直 し	鷺羽山ビジター センター (生環、倉敷市)	H20年度末で閉じ て、H21年度に処分	・8月に倉敷市から必要な改修等を条件に譲渡を受ける意向が表明され、現在、改修等の内容について協議を進めており、12月から改修等を行い、年度内に譲渡する予定である。
	観光物産センター (産労、岡山市)	観光案内及び県産 品の展示・販売機能 の代替案を検討した 上でH21年度中に 閉じる	・8月末にセンターを閉鎖し、伝統的工芸品については、9月からJR岡山駅構内に展示コーナーを設置している。 ・県産品については、9月から(社)岡山県産業貿易振興協会が岡山市内に独自店舗を開設し、引き続き販売を行っている。 ・観光案内業務については、岡山市に委託しており、市がJR岡山駅構内の観光案内所で実施している。
21 年 度 見 直 し	むかし下津井 回船問屋 (企振、倉敷市)	H21年度末までに 閉じることとし、活用 策等を検討	・8月に倉敷市から必要な改修等を条件に譲渡を受ける意向が表明され、現在、改修等の内容について協議を進めており、今後、改修等を行い、来年4月に譲渡する予定である。
	グリーンヒルズ 津山 (企振、津山市)	H21年度末までに 閉じることとし、公園 全体の活用策等を 検討	・津山市は、公園部分は引き継ぐが、ガラスハウスについては、改修内容や運営方法の検討、収支改善の見極めなどを慎重に行ったうえで最終判断したいとしており、現在、改修費等について協議を進めている。
	南部健康づくり センター (保福、岡山市)	運営方法等はH21 年度末までに抜本 的な見直しを行う	・運営方法について、利用促進による収入確保や運営経費の節減を図ることとしたうえで、来年度からの次期指定管理者について、公募を行っている。
	水島サロン (産労、倉敷市)	H21年度末までに 閉じることとし、活用 策等を検討	・倉敷市と協議のうえ、民間譲渡に向けて作業を進めている。 ・建物の民間譲渡に伴う市有地の貸付にあたっては、市の規則に基づき公共的利用を条件としている。
	ファーマーズ・ マーケット サウスヴィレッジ (農林、岡山市)	H21年度末までに 閉じることとし、公募 により民間譲渡	・岡山市とどのような利用及び運営形態があるのか研究しているところであるが、8月に市に対して地元利用者等から存続の要望が出されている。 ・引き続き市と協議を行うとともに、見直し方針に基づき民間譲渡についても検討している。
	ファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ (農林、勝央町)	H21年度末までに 閉じることとし、公募 により民間譲渡	・勝央町への譲渡に向け、改修等の経費を9月補正予算として提案しているところである。 ・補正予算成立後、10月から改修等に着手し、来年4月に譲渡する予定である。
	吉備路郷土館 (教育、総社市)	H21年度末までに 閉じる。また、施設の 活用策等について 検討し、H22年度に 総社市へ譲渡	・8月に総社市において美術館としての活用案が示され、県に対し改修等の要望があったところであり、現在、改修等について協議を進めている。

# 施設ごとの状況一覧

H 2 1 . 7 . 1 4  
行財政改革・道州制等  
特別委員会提出資料

## 1. 20年度に見直しを行った施設(26施設)

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
廃止	<1> 鷺羽山ビジターセンター (生環、倉敷市)	H20年度末で閉じて、 H21年度に処分	・H20年度末で閉鎖したが、倉敷市から「鷺羽山周辺の整備に当たり、施設の利用の可能性を検討したい」との要望があり、現在、市や関係者と協議を継続している。 ・市は、譲渡を受ける場合は、県による施設改修を求めており、改修の内容についても調整している。
廃止	<2> 恩原自然展示館 (生環、鏡野町)	H20年度末で閉じて、 H21年度に処分	・11月までに施設を撤去する予定である。
廃止	<3> 観光物産センター (産労、岡山市)	観光案内及び県産品の 展示・販売機能の代替 案を検討した上でH21 年度中に閉じる	・8月末での廃止に向け、ビル管理会社と手続き中である。 ・代替となる県産品の展示スペース等を関係者と協議している。
廃止	<4> 中小企業労働相談所 (産労、岡山市)	H20年度末で施設を閉 じる	[廃止済み]
廃止	<5> 備北青年の家 (教育、新見市)	・本館は、H20年度末 で閉じて、H21年度に 処分 ・野外活動棟は、譲渡を 含め、新見市と協議	・本館は、H22年1月までに撤去する予定である。 ・野外活動棟は、H20年度末に新見市へ譲渡済みである。
廃止・ 譲渡	<6>～<15> 美しい森(10施設) (農林)	【高梁、新見、長船、勝 山、和気、里庄、久米 南】 ・所在市町へ譲渡  【倉敷、真備、東栗倉】 ・H20年度末で閉じて、 H21年度に処分	・H20年度末で、倉敷、真備を含め9施設を地元市町へ譲渡済みである。(H24年度までの間に、必要な施設改修経費を県が補助する予定) ・東栗倉は、10月までに施設を撤去する予定である。
譲渡	<16> 看護研修センター (保福、岡山市)	H21年度に岡山県看護 協会へ譲渡	[譲渡済み]
譲渡	<17> 県立玉島寮 (保福、倉敷市)	社会福祉法人自然の森 へH21年度に譲渡	[譲渡済み]
譲渡	<18> 県立身体障害者授産所 (保福、吉備中央町)	社会福祉法人吉備の里 へH21年度に譲渡	[譲渡済み]
譲渡	<19> 県立知的障害者授産所 (保福、吉備中央町)	社会福祉法人吉備の里 へH21年度に譲渡	[譲渡済み]

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
譲渡	<20> 県立吉備の里通勤寮 (保福、吉備中央町)	社会福祉法人吉備の里 ～H21年度に譲渡	[譲渡済み]
譲渡	<21> 県立おかやま福祉の郷 (保福、岡山市)	社会福祉法人旭川荘へ H21年度に譲渡	[譲渡済み]
譲渡	<22> 技術振興研修センター (ニューサイエンス館) (産労、吉備中央町)	H20年度末で閉じること とし、公募により民間譲 渡	・H20年度末で閉鎖済みであり、現在、不動産鑑定による 財産評価を行うなど、民間譲渡に向けた公募準備作業 を進めている。
譲渡	<23><24> 県立城下地下駐車場、 岡山県城下地下広場 (土木、岡山市)	H21年度に岡山市へ譲 渡	[譲渡済み]
集約化	<25> 県立記録資料館 (総務、岡山市)	資料の閲覧、普及啓発 機能の一部をH21年度 に県立図書館へ集約化	[集約化済み]
縮小	<26> セラミックスセンター (産労、備前市)	研究部門の縮小	[縮小済み]

## 2. 21年度に見直しを行う施設(26施設)

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
廃止	<1> むかし下津井回船問屋 (企振、倉敷市)	H21年度末までに閉じ ることとし、活用策等を 検討	・倉敷市と設備等の改修を前提に、譲渡に向けた協議 を行っている。
廃止	<2> グリーンヒルズ津山 (企振、津山市)	H21年度末までに閉じ ることとし、公園全体の 活用策等を検討	・津山市から公園部分については引き継ぐ意向が示さ れ、現在、ガラスハウスの取扱いを中心に、市と協議を 行っている。
廃止	<3> 水島サロン (産労、倉敷市)	H21年度末までに閉じ ることとし、活用策等を 検討	・民間譲渡を前提にした活用策等について、土地の所 有者である倉敷市と協議している。また、倉敷市による 活用策についても打診しており、市は依然として県施設 のままの存続を要望している。
廃止	<4> 龍ノログリーンシャワー 公園 (農林、岡山市)	建物等の処分を国と協 議し、H21年度末まで に閉じる	・地元住民等との協働による運営について、国の了解を 得ており、国、県、地域住民等により協議を進めている。 ・県としては、施設の撤去を検討している。

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
譲渡	<5> ファーマーズ・マーケット サウスヴィレッジ (農林、岡山市)	H21年度末までに閉じることとし、公募により民間譲渡	・民間譲渡の進め方について検討しているが、地元から施設の存続について要望があり、岡山市とどのような利用及び運営形態があるか、その可能性について研究している。
譲渡	<6> ファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ (農林、勝央町)	H21末までに閉じることとし、公募により民間譲渡	・4月に勝央町から譲渡を受ける意向が示されたことから、施設の改修や一部撤去について町と協議を進めている。
譲渡	<7> 二十一世紀の森 (農林、吉備中央町)	独立行政法人国立青少年教育振興機構へ譲渡協議し、H21年度末までに閉じる	・5月に機構から譲渡を受けることは困難との回答があり、現在、吉備中央町への譲渡について協議を行っている。
譲渡	<8> 津山婦人青年の家 (教育、津山市)	H21年度に必要な整備を行い、H22年度に津山市へ譲渡	・津山市への譲渡に向け、必要な施設の改修を行う予定である。
譲渡	<9> 県立吉備路郷土館 (教育、総社市)	H21年度末までに閉じる。また、施設の活用策等について検討し、H22年度に総社市へ譲渡	・総社市と活用策等について協議を進めているが、市においては、活用策の素案を7月末までにまとめることが表明された。 ・今後、この活用策の素案をもとに協議を進めることが想定される。
集約化	<10> 消費生活センター (生環、岡山市) <11> 交通事故相談所 (生環、岡山市) <12> 青少年総合相談センター (生環、岡山市) <13> 男女共同参画推進センター (生環、岡山市) <14> 福祉相談センター (保福、岡山市) <15> 身体障害者更生相談所 (保福、岡山市) <16> 知的障害者更生相談所 (保福、岡山市) <17> 女性相談所 (保福、岡山市)	H22年度から相談機能を有する施設の集約化を実施	・関係部で構成する県庁内の連絡会議において、集約化の具体的な進め方等について検討している。 ・10月頃を目途に取りまとめを行う予定である。

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
集約化	<18> 農業総合センター 農業試験場 (農林、赤磐市)	総務部門などの統合により、H22年度から集約化を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部有識者による集約化検討委員会を設置(H21年2月)し、具体的な集約化の進め方などについて検討している。</li> <li>・10月頃を目途に取りまとめを行う予定である。</li> </ul>
	<19> 生物科学総合研究所 (農林、吉備中央町)		
	<20> 総合畜産センター (農林、美咲町)		
	<21> 水産試験場 (農林、瀬戸内市)		
	<22> 林業試験場 (農林、勝央町)		
	<23> 木材加工技術センター (農林、真庭市)		
縮小	<24> 量子科学研究所 (企振、岡山市)	研究体制の縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究費を半減し、非常勤研究員を2名減したところであり、今後、更に1名減とし6名体制とする予定である。</li> </ul>
縮小	<25> 工業技術センター (産労、岡山市、備前市)	備前陶芸センターをH21年度末まで閉じることとし、それまでに活用策を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元が主体となった活用策について協議を進めている。</li> </ul>
運営見直し	<26> 南部健康づくりセンター (保福、岡山市)	運営方法等はH21年度末までに抜本的な見直しを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部健康づくりセンターの在り方はもとより、利用促進による収入確保や運営経費の節減を図る方策等も含め、適切な運営方法等について検討している。</li> </ul>

### 3. 22年度に見直しを行う施設(4施設)

整理区分	施設名 (所管部局、所在地)	見直し方針	現在までの状況
廃止	<1> 県立児童会館 (保福、岡山市)	H22年度末までに閉じることとし、子育て支援施策全体の中で取扱いを検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し方針の実施に向け、検討している。</li> </ul>
譲渡	<2> 県立玉島学園 (保福、倉敷市)	入所児童の処遇に配慮し、H22年度末までに公募により社会福祉法人へ譲渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し方針の実施に向け、検討している。</li> </ul>
譲渡	<3> 県立津島児童学院 (保福、岡山市)	入所児童の処遇に配慮し、H22年度末までに公募により社会福祉法人へ譲渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し方針の実施に向け、検討している。</li> </ul>
譲渡	<4> 岡山テルサ (産労、早島町)	H22年度末までに閉じることとし、公募により民間譲渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し方針に基づき、民間譲渡の方法等を検討している。</li> </ul>

## 道州制シンポジウムの開催について

県では、道州制の導入に向けて積極的な情報発信を行い、県民の理解促進や気運の醸成を図るため、次のとおり「道州制シンポジウム」を開催する。

### 記

- 1 日 時 平成21年10月26日(月) 13:00～15:30
- 2 場 所 メルパルクOKAYAMA(岡山市北区桑田町1-13)
- 3 内 容
  - (1)基調講演  
講 師：江口克彦氏(道州制ビジョン懇談会座長、PHP総合研究所代表取締役社長)  
演 題：「地域主権型道州制について」
  - (2)パネルディスカッション  
パネリスト：  
江口克彦氏  
岡田新一氏(NPO日本の未来をつくる会 副理事長、建築家)  
古市大蔵氏(三海倶楽部代表世話人、岡山経済同友会 地域振興委員長)  
石井正弘(岡山県知事)  
コーディネーター：  
谷隆徳氏(日本経済新聞社東京本社地方部編集委員兼論説委員)
- 4 参加予定者  
約300人(県民、行政関係者、経済界関係者等)
- 5 主 催 岡山県